



新座中だより

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

「3月号」

令和6年3月1日発行

命とは、私たちが持っている時間である。大切に。

校長 金子 文春

聖路加国際病院の医師で、名誉院長を務められた日野原 重明 先生のお話を紹介します。亡くなる105歳まで現役の医師を続けられ、著書「生きかた上手」はベストセラーに、生前では日本で最も名の知られた医師でした。先生は晩年「人生において最も大切だと思うこと」を次世代の人に伝える活動を始め、2週間に一度小学校に出向き、10歳の子どもを相手に45分間の授業を行いました。

先生は「命はどこにあるの?」と問います。子どもたちは心臓に手を当てて「ここにありますが」と答えます。聴診器を渡して隣同士で心臓の音を聞き合いながら、先生は次のように返します。

「心臓は確かに大切な臓器だけれども、これは頭や手足に血液を送るポンプであり、命ではない。命とは感じるもので、目には見えないんだ。君たちね。目には見えないけれども、大切なものを考えてごらん。空気は見えるの?酸素は?風は見えるの?でも、その空気があるから僕たちは生きている。このように本当に大切なものは目には見えないんだよ。」

「命はなぜ目に見えないか。それは命とは君たちが持っている時間だからなんだよ。死んでしまったら自分で使える時間もなくなってしまう。どうか一度しかない自分の時間、命をどのように使うかしっかり考えながら生きていってほしい。」



3年生に配布する最後の「新座中だより」となりました。

あと半月で卒業する3年生。彼らとの面接練習で「最近関心を抱いたニュース」を聞き、世界各地の戦争や日本国内の地震、不誠実な大人が起こす事件・事故について語り合いました。私たちは、好きな服を着る、温かい食べ物を口に作る、帰るべき家に帰る、そして、自分なりの意志を持つことができます。ただ、改めて思い返すと、それらは決して当たり前でなく、むしろ感謝すべきものだと考えることができます。自分に与えられた命、そして、自分に与えられた時間や可能性を、大切に、大切に、持ち続けていきましょう。